

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	長期整備計画策定事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	水道環境部	課等名	水道課		70	4	1	1		99
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				包含する細々目						
施策	45 居住基盤の向上										
実施区分	18終了	会計	水道	環境調整会議	不要	関連計画条例等	水道法 飯田市水道条例				
	事業期間	17	年度～	18	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市の水道施設(浄水場、配水池、ポンプ場、導・送・配水管) 米川・法山・上久堅簡易水道は除く。	水道施設の箇所数(箇所) 浄水場 4箇所・配水施設(配水池、ポンプ場ほか) 100箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
		導・送・配水管延長(m) 導水管 L=23,575m・送水管 L=95,982m・配水管 L=736,497m	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	建設投資や施設改修を行なううえで、最小限の経費で有効な事業実施を行うための整備計画を策定する。	改修対象とする水道施設の箇所数(箇所)	18目標	52	最終目標	18
			18実績	52	19目標	↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	
改修対象とする水道管の延長(m)		18目標	428027	最終目標	18	
	18実績	428027	19目標	↑		
	23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	今後の整備に向けて、山本JCT周辺の開発、山本特環・公共下水道整備等の整備計画、土地利用計画及び道路交通網整備計画、社会的経済的状況の変化を想定すると共に、水道施設台帳により、各施設の更新の迫っている施設について新設、統合、廃止を含めた改修計画、整備計画を作成する。(妙琴浄水場リフレッシュ事業を統合)	18年度の実績 19年度計画 長期整備計画(旧上村、南信濃村を含める) 施設更新、補修にかかる費用の算出 1式 更新順位の決定 1式 財政計画 1式 年度別更新、補修計画の策定 1式	箇所 m	52 428,027

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	8,925	0
一般財源			
事業費計(A)	8,925	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 710	19年度 0
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,539	0
	トータルコストA+B	11,464	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	水道事業の健全な経営、市民へ安全な水道水の安定供給が計られる。		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
上水道の認可を昭和45年に受けて以来34年を経過しており、当時とは給水人口・生活様式・社会情勢等が変化し施設の老朽化も進んでいるので、将来人口を推定した総合的な整備計画を策定し最小限の経費で有効な事業実施を行う。	施設の老朽化が進んでいる。	現在の実状に合った、水道水の安定供給が求められている。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)
			効率性評価		
			公平性評価		
				受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 平成18年度中に、水道施設の更新、補修事業の計画を、優先順位をつけ財政計画を盛り込み年度毎にまとめる。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断		(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	